

## ～地震についてもう一度考えてみませんか？～

平成28年4月14日、熊本県で震度7の地震が発生し、たくさんの家が倒壊し犠牲者も出るというニュースは、皆さんの耳にも届いているかと思います。また5年前の東日本大震災、平成7年の阪神・淡路大震災など、大地震発生時の家屋などの倒壊や、その下敷きになって多くの人が亡くなられているという事をご存知かと思います。

思い出がたくさん詰まっているご自宅や大切なご家族を守るために、今できる事をもう一度一緒に考えてみましょう。



(地震によって倒壊した家屋。千葉県のパフレット「あなたの住まいは本当に大丈夫ですか!？」より)

### (その1) 家の倒壊を防ぐ

昭和56年以前の古い耐震基準により建築された建物は、地震に対して倒壊しやすいとされています。

一宮町では、そのような木造住宅の「耐震診断」と「耐震改修工事」に対して補助金交付制度があります。

#### ○「耐震診断」とは？

地震の時に、あなたのお住まいが大丈夫かどうかを診断することです。地震に対する強さである「耐震性」の度合いを調べます。これによって、地震の時にその家が倒壊する可能性が高いのかがわかります。

(耐震診断に要する費用の3分の2 但し6万円を限度として交付いたします。)

#### ○「耐震改修工事」とは？

耐震診断の結果、そのお住まいが地震の時に倒壊する可能性が高い事がわかった時、倒壊しないように補強などを行い耐震性を上げる工事のことを言います。なお、工事のための設計や工事監理にかかる費用も補助金の交付対象です。

(耐震設計 上限4万円、改修工事 上限40万円、工事監理 上限6万円で交付いたします。)

昭和56年以前に建てられた木造住宅にお住まいの方は、先ず「耐震診断」を受けてみてはいかがでしょうか。

※補助金の詳細については、一宮町事業課にお問い合わせください。 TEL 42-1430

町ホームページ <http://www.town.ichinomiya.chiba.jp/machizukuri/207/2.html>

(裏面へ)

## (その2) 家の中の安全対策

今直ぐに出来る対策として家の中の安全対策がありますのでご紹介します。

### ①家具を安全に配置しましょう

できるだけ人の出入りが少ない部屋に家具をまとめたり、寝る部屋に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配置しましょう。

### ②家具の転倒や落下を防止する措置をとりましょう

家具と壁や柱の間に空間を作らないようにしましょう。また、L字型金具や重ね止め用金具などを利用して転倒や落下を防ぎましょう。

取り付け用金具の例



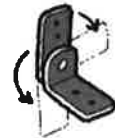
本棚などはL型金具や支え棒でしっかり固定しましょう。



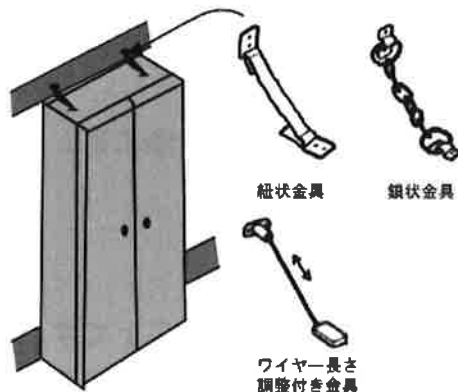
L型金具



L型緩衝具付き金具



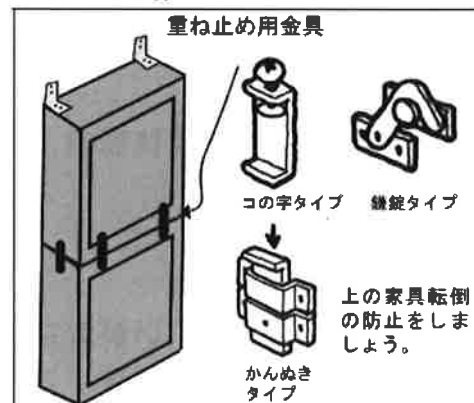
L型自在継手付き金具



紐状金具

鎖状金具

ワイヤー長さ調整付き金具



重ね止め用金具

コの字タイプ

鎌鉤タイプ

かんぬきタイプ

上の家具転倒の防止をしましょう。

(千葉県のパンフレット「あなたの住まいは本当に大丈夫ですか!？」より)

### ③通路や出入口に荷物を置かないようにしましょう

いざというときの避難路を確保するために、通路や出入口にはできるだけ荷物を置かないようにしましょう。

### ④窓ガラスに飛散防止フィルムをはりましょう

窓はもちろん、食器棚や額縁などに使われているガラスにも忘れずに飛散防止フィルムをはりましょう。

最後に、大地震はいつ発生しても不思議ではありません。大地震が発生する前に、もう一度身の回りの状況を確認されてはいかがでしょうか？

※防災の総合的な事については一宮町総務課にお問い合わせ下さい。 TEL | 42-2112